

# 五味太郎さんと楽しいお話

～「子ども読書の日」記念講演会を開催しました～

平成28年4月16日(土)・教育センター「ぎんが」にて



世田谷区立図書館では、「子ども読書の日」を記念し、毎年子どもの本に携わっている著名な方々をお招きして、講演会をおこなっています。今年は、絵本作家の五味太郎さんをお呼びしました。

講演では、五味さんの子どもや絵本に対する思いなどを自由にお話していただきました。

本の楽しみについて「他の人と、どう読んだか、わいわいと語り合うことが本の楽しみ。それは絵本も同じ。」など子どもや絵本に対する思いが伝わってきました。

## <参加者からの質問コーナー>

Q：しかけ絵本の『まどから おくりもの』が大好きなのですが、創作当時のエピソードはありますか？

A：しかけ絵本は実はきらいだった。でも、穴くらい開けてもいいかなと思って恐る恐る開けたら面白かった。本に穴を開けることで空間がダイナミックに変わったりするので面白い。

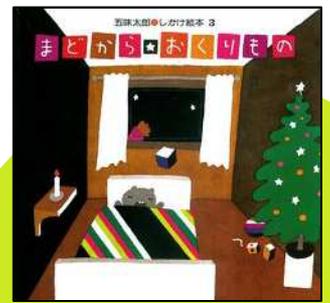
Q：『質問絵本』を、いろいろな年齢の子どもに読み聞かせたら面白いと思ったのですが、そういったことをされたことはありますか？

A：そういったことはしたことはない。こういう時どういう風に考えられるのかな。という答えが一つではない問題がすきなのでこの絵本は気に入っています。

Q：『さる・るるる』のさるが先生に似ている気がします。

A：描くキャラクターは似てしまう。親近感がある。僕さる顔なんだ。

など、普段は聞くことのできないお話を聞くことができました。



『まどから おくりもの』  
(五味太郎・しかけ絵本3)  
(偕成社)



『質問絵本』  
(GOMI TARO WORKSHOP)  
(ブロンズ新社)



『さる・るるる』シリーズ(絵本館)

参加者からは「五味さんの自由な発想が今後の子育てのやり方に影響を与えてくれました。」「楽しかったです！よい刺激を沢山もらいました。」「参加して、ワクワクした。」「親として子どもとの関わり、社会との関わりを考えさせられるよい機会になりました。」「エネルギーで、お会いできてお話をお聞きできて良かったです。」「話の種類がとても豊富で、大変楽しかったです。たくさんの気づきを頂けた。」など、五味さんのお話が刺激になったという感想が多数ありました。

中央図書館の「おはなしのへや」に、五味さんのサイン色紙を飾っています。是非ご覧ください。